

木匠



夢は未来の匠 只今、大工の修行中!

(株)山口建設

す な が ゆ う か

須永 優香さん



記事内容は、
取材当時(2021年12月)
のもです。

女性大工を目指す須永優香さんは、令和3年に足利市共同高等産業技術学校に入学し、働きながら毎週土曜日に技術と知識を学んでいます。

須永さんのお父さんは、重量鳶。その働く姿に影響を受け、大工の道を進むことに。高校は、建築科のある足利大学附属高校に進みました。同級生40名中、女子は須永さんを含め2名だったそうです。

高校3年間は、夢中で学び、ますます大工への夢が膨らむ中、就職は先生のご苦勞もあり、現在所属の山口建設さんが、「3か月来てみれば。」と声をかけてくれて現在に至ります。職場では様々な業務をこなしながら、ベテラン大工の技を傍らで眼で学んでいる最中です。

須永さんが、圧倒的男性社会である大工の道に飛び込んだことに家族は、温かく見守ってくれているそう

ですが、生傷の絶えない職場でもあるので、傷を作るたびにお母さんを心配させてしまうとのこと。20歳の女性。化粧、ネイルなど自分をより美しく飾ることに関心が向く年頃ですが、材木に印を付ける手に傷、化粧つけない真剣な横顔は、ピカピカに輝いて見えました。

いつか、自分で請け負って家を建てるのが夢ですと笑顔で語る須永さん。外へ出ると、つい建築現場に目が行ってしまうそうです。「力では、男性には敵わない。でも技術をここでしっかり学び、頑張ります！」そんな須永さんに多田校長、指導者である渡邊会長は、目を細めてその成長を見守ってくれています。女性ならではの細やかな感性をもった大工になり、夢を叶えて欲しいです。(M.T)

足利市